

## 景気動向指数

### 1 福岡県の景気動向指数（2016年8月）

- (1) 先行指数：2か月ぶりに50%を上回った。
- (2) 一致指数：4か月連続で50%を上回った。
- (3) 遅行指数：3か月連続で50%を下回った。

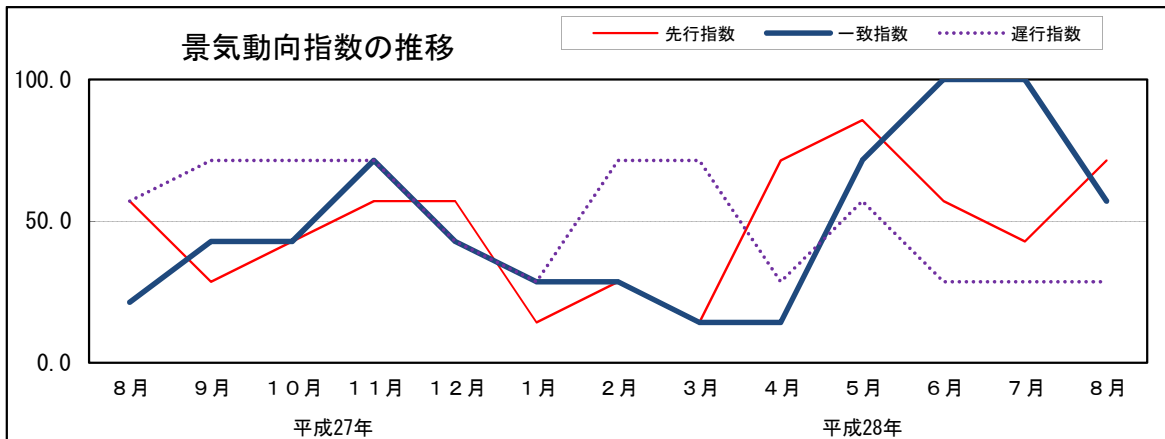
#### 福岡県

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成27年 (2015)	8月	57.1	21.4	57.1
	9月	28.6	42.9	71.4
	10月	42.9	42.9	71.4
	11月	57.1	71.4	71.4
	12月	57.1	42.9	42.9
平成28年 (2016)	1月	14.3	28.6	28.6
	2月	28.6	28.6	71.4
	3月	14.3	14.3	71.4
	4月	71.4	14.3	28.6
	5月	85.7	71.4	57.1
	6月	57.1	100.0	28.6
	7月	42.9	100.0	28.6
	8月	71.4	57.1	28.6

#### 全国

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成27年 (2015)	8月	45.5	55.0	44.4
	9月	18.2	30.0	33.3
	10月	45.5	65.0	33.3
	11月	27.3	60.0	44.4
	12月	36.4	30.0	55.6
平成28年 (2016)	1月	45.5	30.0	44.4
	2月	36.4	20.0	44.4
	3月	40.9	40.0	66.7
	4月	54.5	40.0	55.6
	5月	63.6	50.0	33.3
	6月	77.3	65.0	38.9
	7月	45.0	33.3	18.8
	8月	44.4	93.8	40.0

資料出所：福岡県調査統計課、内閣府「景気動向指数(DI)」



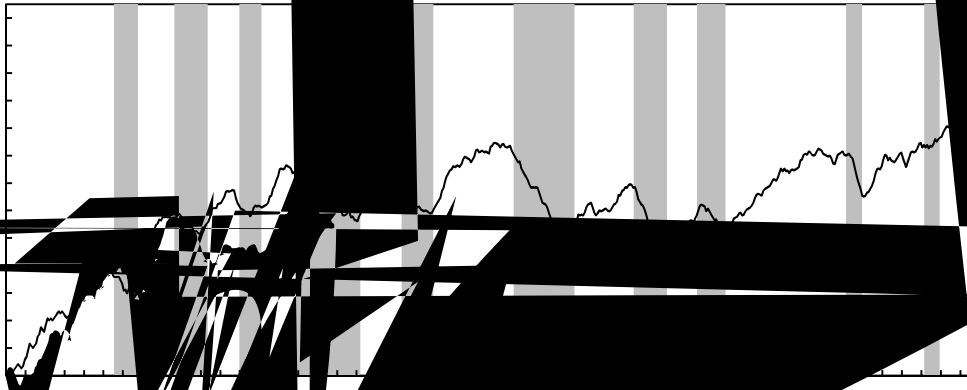
### ○ 個別系列の変化方向

	プラスの指標（3か月前との比較）	マイナスの指標（3か月前との比較）
先行系列	生産財生産指数 新規求人数 △新設住宅着工床面積 △輸入通関実績 最終需要財在庫率指数	日経商品指数 乗用車新車登録台数
一致系列	所定外労働時間数〈製造業〉 鉱工業生産指数〈総合〉 鉱工業出荷指数〈総合〉 有効求人倍率	▼単位労働コスト〈製造業〉 ▼スーパー販売額 ▼輸出通関実績
遅行系列	常用雇用指数〈全産業〉 △地銀貸出約定平均金利	▼雇用保険受給者実人員 鉱工業在庫指数〈総合〉 消費者物価指数（福岡市） 勤労者世帯消費支出（福岡市） 法人事業税調定額

※△は前回のマイナス指標からプラス指標になったことを、▼はプラス指標からマイナス指標になったことを示す。  
※変化方向0は便宜上プラスとしている。

# 景気動向指数

2 福岡県の累積動向指数 (平成25年9月～2016年8月)



景気動向指数（DI）は、毎月発表される景気動向指数（DI）の値を累積したものが累積景気動向指数（累積DI）です。累積DIを0とし、次式により月々累積して求めています。

$$\text{累積DI} = \text{前月の累積DI} + (\text{当該月のDI} - 50)$$

このようにして累積DIは、景気の拡大・縮小を視覚的にとらえやすいという利点をもっています。また、景気の後退期をあらわしています。

## 景気の山、景気の谷

谷	拡張期間	後退期間	全循環	
昭和46年12月		14か月		
昭和47年11月	昭和50年7月	24か月	20か月	44か月
昭和49年3月	昭和53年4月	20か月	13か月	33か月
昭和53年2月	昭和58年5月	22か月	39か月	61か月
昭和58年7月	昭和62年2月	26か月	19か月	45か月
昭和62年4月	平成6年5月	50か月	37か月	87か月
平成6年6月	平成11年2月	37か月	20か月	57か月
平成11年7月	平成14年11月	33か月	20か月	53か月
平成14年4月	平成17年7月	33か月	20か月	53か月
平成17年2月	平成20年5月	33か月	20か月	53か月

（参考）景気動向指数（DI）は、毎月発表される景気動向指数（DI）の値を累積したものが累積景気動向指数（累積DI）です。累積DIを0とし、次式により月々累積して求めています。

このようにして累積DIは、景気の拡大・縮小を視覚的にとらえやすいという利点をもっています。また、景気の後退期をあらわしています。

一致指数  
景気の拡張局面  
景気の「山」、

※HDI：通常使用